

2018年10月11日

国際電気標準会議の IEC1906 賞を受賞

住友化学の理事である関根千津は、このたび、1906年に設立され、約80カ国が参加している電気・電子技術分野における国際標準の作成を行う国際電気標準会議（IEC）より、「IEC1906賞」を受賞しました。

IEC1906賞は、電気・電子技術の標準化活動に大きく貢献した個人または組織に対して贈られるものです。関根は、IECにおいてプリントド・エレクトロニクス材料の標準化活動を行っているワーキンググループ「IEC/TC 119 WG2 (Materials)」のコンビナーとして、参加国の意見を調整しながら技術的な議論をリードし、同ワーキンググループが扱う複数のプロジェクトを的確に管理したことが高く評価され、受賞に至りました。

プリントド・エレクトロニクスは、IoT社会の実現に欠かせないセンサーネットワークのキーテクノロジーの一つになると見込まれています。プリントド・エレクトロニクス材料の特性や耐久性の評価法に関する国際標準化が進めば、材料の利活用が容易になることから、技術展開の幅が広がり、さまざまな製品の事業化および普及が期待されます。

住友化学は、総合化学メーカーとして培ってきた知見を生かして、これからも技術を基盤とした新しい価値の創造に貢献してまいります。

<ご参考>

住友化学のプリントド・エレクトロニクス技術

<https://www.sumitomo-chem.co.jp/printedelectronics/>

以上

